

絵の具でゆめもよう

柴田理央さんとの図工は、折り紙を蛇腹に折って、飾りを作る活動から始まりました。いくつか飾りを作った後、いよいよ絵の具を使った活動に入りました。今回取り組んだ活動は「ビー玉コロコロ」です。



今回から絵の具を使うので、服が汚れないようにきれいなエメラルドグリーンのスモックを着て活動しました。

絵皿の中にビー玉を入れて、絵の具を塗りつけたら、スプーンですくってポトリと画用紙の上へ。

時には勢い余って、トレイからビー玉が飛び出してしまうことも…。

ビー玉が床を転がる「コロコロ」という音や、机にぶつかった時にたてる「カチン!」という音に、理央さん、大喜びの表情ですね。



トレイの傾け方を少しずつ変え、最初はトレイの周りくるくる回るだけだったビー玉が、画用紙の上を滑って絵の具の軌跡を描くようになってきました。

これは2枚目の黒い画用紙に制作中のところです。



スプーンでビー玉をすくう動きは、手首を返す練習にもなることを今回の活動を通して知りました。次回はビー玉も大きさを変えて、より重みを感じ取りやすいものにしてほしいと思います。出来上がった作品は他の作品の台紙にも活用しようと二人で話しました。